

さあ、スタートだ！90年度



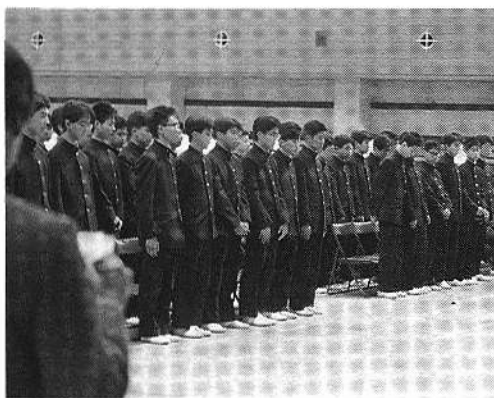
新入生歓迎号

発行

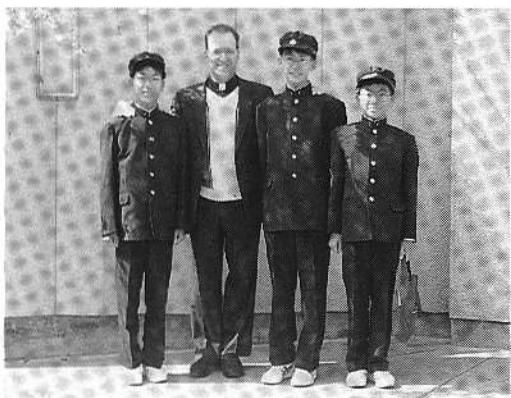
洛星新聞局

☎ (463) 3281 (代)

印刷/南片桐軽印刷



去る四月九日第39回中学入学式、第36回高校入学式が行われ、中学180名、高校は編入生90名を含め283名が入学を許可された。ラバディ校長は「頭・心・体の成長を三本柱にし、一流大学より心の暖かい人間を目指すように」と激励した。



Let's be responsible

ゲエタン・ラバディ校長



社会で「無責任な人だなあ」と思われたり、非難されたりすることは大変悲しいことです。そうならないために、今のうちからどんな事に対しても責任を持って最後までやりとげる姿勢でいて欲しいと思います。この責任感を確かなものとするように、今年には特に五つのポイントに絞って、努力してみよう。

① 学生にとって勉強は、当然責任をもってすべきことです。これは自分の将来の準備をするためでもあります。洛星は君達の才能にチャレンジします。ベストを尽くしてがんばることは一人一人の務めであると思っています。今まで一生懸命がんばってきた人は、そのままと続けて下さい。そうでない人は、これから自分自身に挑戦してみてください。

② 洛星では、勉強と同様にクラブ活動も重視しています。クラブ活動は勉強のために大事な役割があるだけでなく、熱意をもって参加することはクラブのためにも大きな影響を及ぼすと思っています。

③ 皆さんは家庭や、学校でいろいろな役割を持っています。その役割をどんな風に果たして居るでしょうか。今と昔とでは与えられた役割を果せないなら、将来も同じことではないでしょうか。うまくいくこと

H I D 黒田直志 新入生のみなさん、入学おめでとうございます。早速ですが、僕からみなさんに伝えておきたいのは勉強以外にも、何か一つ打ち込めるものをつくって欲しいということです。洛星では、勉強ももちろんですが、クラブ活動も盛んです。文化祭とか体育祭などのほかに、クリスマスタブローというミッシェンズクールならではの行事もあります。これらのものにも大いに参加して下さい。これらの中で得た体験の中で自信をつけて、勉強には不足を補って、大学現役合格した人も多勢いるのです。しかし、課外活動だけに時間を奪われぬ様に、上手に勉強と課外活動を両立させて下さい。

では、みなさんの洛星での活動を期待しています。

H I F 芦原聡 新高一の皆さん、入学おめでとうございます。今までの新しい生活に喜びと少しの不安を持っていることかと思いますが、いかがでしょうか？

さて、新しく始まった高校生活ですが、楽しくなければいけません。でもただ楽しいというだけでは皆さんも満足出来ないでしょうから、充実した生活を目指すべきだと思います。そして充実した生活を送るためにはどうすべきか、を常に自分で考えることが必要だと思っています。当り前に聞こえるこの「考える」ということがおそろしくなっているのじゃないでしょうか。自分で考えて、自分から行動をして、前向きな生活をして欲しいと思います。

H I A 富永将行 我輩は高二の富永である。とりあえず高一諸君、おめでとう。等々言っておこう。何故こんな言いまわしで歓迎するのかそれは、そう、誰もが一度は体験する「男

御入学おめでとう

～在校生から～

子校の悲しさ。ゆえなのだ。もうじき君達は、たまらななく、さびしく感じるであろう。こんなエラそうなことを書いている私は対応を知っているか、と言うと、とんでもない！この学校に入ったキミが悪い。やーい、やーい。さあまあろってんだ。さて、あまりビビらせると後が怖いので、ほら「正しい対応法」を教えよう。すなわちその異性に対する情熱を勉強やクラブに向けなければいけません。そこで演劇部は別にしてくるから、それ以外のことに集中して下さい。

と感しました。少しオバーですが洛星は十分にみなさんの期待に答えることができる日本唯一の学校です。思う存分洛星での生活を楽しんで下さい。

M 3 D 中嶋謙昌 一年生の皆さん、ご入学おめでとうございます。今までは毎日楽しく過ごされてきたことと思います。さて、この学校に入ってからとて、何をすればよいのかとあせる人がいますが、あせっても別に利益はないと思います。中一の間は何か心配せずに、与えられた課題(宿題やクラブなど)を確実にやりさえすればそれでよいのではないのでしょうか。早い時期から無理をする事は、「百害あって一利なし」です。積極的に行事に参加して、楽しく過ごせばいいじゃないですか。とにかく、地道が一番です。地道に行けば、きっと素晴らしい道にたどりつくことが出来ると思います。では、健康に気を付けて、充実した学園生活を送って下さい。

M 3 D 富久文哉 新中1の皆さん、御入学おめでとうございます。誰もが皆、これからの学園生活に心を弾ませていくことでしょう。

さて、洛星を選んだ理由の一つに、クラブ活動も盛んだからという事を挙げる人も少なくないと思います。この学校に入ってからには、勉強だけでなく、クラブも両立できるように頑張ってください。

ご存知の通り、この学校には高校入試はありません。ですから、大学入試まで皆さんにはあと6年もあります。中学の間は、文化祭や体育祭、生徒会などの様々な活動に参加してみるのがいいでしょう。何事も経験が大切です。先の事を案ずるより、とにかくいろんな事にチャレンジしてください。

M 2 C 天野旅人 中学一年生諸君の育った小学校はどのような学校だったかは知らないが、僕の場合、一年前に洛星に入学校の時、通っていた小学校に比べて随分と校風が違っていた。という印象を受けた。中一の諸君もおそらく同じような印象を受けているのではないだろうか。

洛星は精神の発達を重視した学校である。キリスト教の学校であるから当然宗教の授業もある。僕は信者でないが、宗教を教わることで、精神の発達と深い関係があるように思う。だから、学校の勉強ではないけれども、宗教の授業にも真剣に取り組むのがいいと思う。

いずれにせよ、洛星の校風は比較的自由である。自由な校風の中で一緒にのびのびと勉学に励もう。

と感しました。少しオバーですが洛星は十分にみなさんの期待に答えることができる日本唯一の学校です。思う存分洛星での生活を楽しんで下さい。

M 3 D 中嶋謙昌 一年生の皆さん、ご入学おめでとうございます。今までは毎日楽しく過ごされてきたことと思います。さて、この学校に入ってからとて、何をすればよいのかとあせる人がいますが、あせっても別に利益はないと思います。中一の間は何か心配せずに、与えられた課題(宿題やクラブなど)を確実にやりさえすればそれでよいのではないのでしょうか。早い時期から無理をする事は、「百害あって一利なし」です。積極的に行事に参加して、楽しく過ごせばいいじゃないですか。とにかく、地道が一番です。地道に行けば、きっと素晴らしい道にたどりつくことが出来ると思います。では、健康に気を付けて、充実した学園生活を送って下さい。

M 3 D 富久文哉 新中1の皆さん、御入学おめでとうございます。誰もが皆、これからの学園生活に心を弾ませていくことでしょう。

さて、洛星を選んだ理由の一つに、クラブ活動も盛んだからという事を挙げる人も少なくないと思います。この学校に入ってからには、勉強だけでなく、クラブも両立できるように頑張ってください。

ご存知の通り、この学校には高校入試はありません。ですから、大学入試まで皆さんにはあと6年もあります。中学の間は、文化祭や体育祭、生徒会などの様々な活動に参加してみるのがいいでしょう。何事も経験が大切です。先の事を案ずるより、とにかくいろんな事にチャレンジしてください。

M 2 C 天野旅人 中学一年生諸君の育った小学校はどのような学校だったかは知らないが、僕の場合、一年前に洛星に入学校の時、通っていた小学校に比べて随分と校風が違っていた。という印象を受けた。中一の諸君もおそらく同じような印象を受けているのではないだろうか。

洛星は精神の発達を重視した学校である。キリスト教の学校であるから当然宗教の授業もある。僕は信者でないが、宗教を教わることで、精神の発達と深い関係があるように思う。だから、学校の勉強ではないけれども、宗教の授業にも真剣に取り組むのがいいと思う。

いずれにせよ、洛星の校風は比較的自由である。自由な校風の中で一緒にのびのびと勉学に励もう。

い。きっと、今まで気づかなかった何かを見つけれはるはず。それでは、あせらず、悔いのない充実した学園生活を送って下さい。

M 2 A 鷺田もじり 新入生の皆さん、入学おめでとうございます。もう洛星にも慣れたかと思っています。

さて、皆さんは入学してきて、今は希望に満ちあふれているので、勉強をがんばるぞ、と思っていると思います。けれども、そのうち退屈になってくるかもしれません。そんなときは、いろんなことに興味を持つように努力すると思います。

また、勉強とは別に、中学の間はたっぷり時間があるので、自分の好きなことに熱中したいと思っています。真面目な中学生生活なかがめんです。思いつきやりのことをやったら、そのことが、明るい生活になるだけでなく、将来、いつか役に立つと思います。楽しい生活を送って下さい。

校長に聞く今年の目標

Let's be responsible

始業式の際にラバディ校長先生は、去年の「Let's be gentlemen」に代って、今年一年間の目標を、「Let's be responsible」と発表された。新聞局は、校長先生にこの言葉の意味を含めて今年の抱負をうかがった。

— LET'S BE RESPONSIBLE を考えた動機は何ですか？

うーんそれはいつでしたか、1月ごろかな。来年何をしようかなあ、それを日本語にするか英語にするか、テーマがあったらね、始業式の時に使いたいです。

— 去年の GENTLEMAN をそのまま使う考えはあったのですか？

考えたけれどね、長くすると面白くないんじゃないかなあ。ですから、新しいことだったら新しいスピリットがでるんじゃないかなあ、と思ってやってみたかったですね。

— 今年のテーマの具体的な目標は何ですか？

生徒は生活の中で無責任じゃないかなあ。例えば学校は汚い、ある生徒は勉強しないとかそれを見てると GENTLEMAN ではない。無責任とよく似てますね。ですから、去年とテーマの目標はよく似ている。で

局 説

今年も又春になり中高一高二の新生が300人近くの新生が入学してきた。彼等は、入学するまでの何年かを、おそろしく強いあこがれを持ってこの学校を目指し、それなりの努力をしてきたはずである。

しかし、我々在来生には希望に胸をふくらませて入学してくる者を十分に受けとめるだけの準備ができていないだろうか。この問題にはつきりとイエスと答えることは、残念ながらできない。その最も大きな原因の一つに、生徒の生徒会への無関心ということがある。これは何と今に始まったことではなく、ここ数年の洛星が

かかえる大きな問題といえる。その中でも初期の洛星の全てが良かったという訳ではないが、いろいろな資料を調べてみると、初めの頃は、何人もが役員に立候補し、全生徒の大きな関心の中で生徒会が運営されていたように思う。だが、筆者が入学した時、すでにそのような雰囲気は全くといってよいほどなく、入学までのあこがれとは正反対の、とまどいにも似たものを感じたことを憶えている。最近、洛星に古くからおられる先生たちが、「昔の洛星は、：だった」というような話をされるのをよく耳にするが、やはり、そう言われるのにはそれなりの理由が、学校のみならず生徒の側にあると思う。そこで我々が

も日本人なら、無責任といわれるものすごく怒りますね、一番嫌いな事。You Are Not A GENTLEMAN といってもあまりたえなないけど無責任という言葉で少しは心にとめてくれるかなあと思います。

— 去年から今年にかけての生徒の変化は

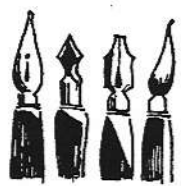
まあ、ちょっとはありましたね。例えば朝、あいさつするようになった。少なくとも私を見つめると、ホックをとめる人は多くなつた。生徒はそれがいいけないと意識してますからね。

— 始業式の時、LET'S BE RESPONSIBLE という感じで笑い声もあきました。

だから、みんな覚えていてくれたから、逆にうれしかったです。RESPONSIBLE と言った時、おっとという意外感があったでしょうね。

— これからも折々標語は考えて行くんでしょうけれども、LET'S の一でいくんでは

と、今年も並々ならぬ意気込みを語って下さったラバディ先生は、「有言実行」で次々に新しいことを実行に移しておられる。先生の意気込みからみても、近いうちに成果はきつと出るだろう。しかしそれ、無責任を気にしない現代の子である。我々の心掛けにかかっている。その意味では復讐的なこのテーマ。来年が楽しみだ。



他 校 訪 問 (上 宮 高 校)

4月21日、我々新聞局員一同は大阪の上宮高校を訪ねた。

上宮高校は近くに清風、樟陰などの有名高が立ち並び大阪の文教地区にある。大阪の町中であるから、大阪バス・地下鉄・JR環状線・近鉄と交通機関には事欠かない。



訪問してわかった二、三の点について話をしよう。洛星と比較するのは一番わかりやすいので、そうしてみよう。

共通点、その一。男子校であること。この点、洛星とは相似の関係にあるといえる。全学年総計二千七百余名の男子高校生と、若手ベテランのそれぞれの男性教師陣の織りなす雰囲気は「ああ男子校」といふのはどこか安心感をわれわれに与えてくれた。

学校であること。洛星はカトリックだが上宮は法然上人を学校祖とする浄土宗の学校である。宗教行事としては入学当初の東山知恩院参拝と毎月二十五日の御忌(ぎよ忌)式がある。御忌式というのは法然上人の命日(一月二十五日)であるところから行われる法話を聴く会で、これがあるから上宮校生には毎週の全校朝礼というものが存在しない。部外者から見れば「え、宗教の学校なの？」と感じて見られがちであるが、一旦中に入ればそんなに宗教臭がしないのが通例であり、宗教への関心が全体に低いのも、わが洛星との大いなる共通点、と言えきもの。

相異点で細かいことを一つ指摘しておくと、廊下、教室がとても綺麗に掃除されている、ということに驚かされた。裏返せばなんとわれらの学舎の汚さよ、ということである。気合いを入れて掃除しよう。少くとも他校生に見られても恥ずかしくない程度に。

話は変わるが、上宮の目玉と言えはやはり体育系クラブの大活躍である。卓球や剣道、水泳部、ハンドボール部などの全国レベルの活動の中で、ひときは輝き出ているのが野球部である。

近年、春夏の甲子園にのりこんで華々しい戦果を挙げている野球部だが、校内での期待も一番大きいようである。

野球部の練習は、本校のグラウンドではなく、大阪府南河内郡の太子町学舎グラウンドで行われる。緑あふれる立派な球場でのハードな練習。それによってつかむ甲子園への切符。いや、や、なんともうらやましような光景ではありませぬ。

私と洛星

第五回 「協力会の創設」 前校長 村田源次

運動場は東西、南北に将来の市道計画の白線があり、土地全体は風電の方向にゆるやかに傾斜し、水溜まりやデコボコの畑地でした。当時千本通りから白梅町までの今出川通りには電車が走りまわっていました。新しい電線設備のため道路の土を捨てた場所を探していたので、これ幸いと畑に運んで頂き、ブルドーザーでならして頂いて運動場の形が出来上りました。フェンスも無く、暫く等持院の住民や立命館の学生(当時は理工科のみが衣笠館にありました)に近道として横切られていました。鉄柵をしてからも近隣の子供達が穴を作り入って野球を楽しんでいました。その少年達の中に洛星を卒業された方々も少なくありません。又、前田先生や斎藤先生の指導で花壇や畑をつくり、トウモロコシやサツマイモを植え、秋のホームルームで

現運動場は東西、南北に将来の市道計画の白線があり、土地全体は風電の方向にゆるやかに傾斜し、水溜まりやデコボコの畑地でした。当時千本通りから白梅町までの今出川通りには電車が走りまわっていました。新しい電線設備のため道路の土を捨てた場所を探していたので、これ幸いと畑に運んで頂き、ブルドーザーでならして頂いて運動場の形が出来上りました。フェンスも無く、暫く等持院の住民や立命館の学生(当時は理工科のみが衣笠館にありました)に近道として横切られていました。鉄柵をしてからも近隣の子供達が穴を作り入って野球を楽しんでいました。その少年達の中に洛星を卒業された方々も少なくありません。又、前田先生や斎藤先生の指導で花壇や畑をつくり、トウモロコシやサツマイモを植え、秋のホームルームで

は共に食べて楽しいゆとりある時間の一つでした。

〔協力会の設立〕

ご存知のように中学校は八期まで3クラスでスタートしました。毎年生徒も増えるようになり、三年後は高校の校舎を建築しました。中学と高校の間は渡り廊下で結んでありました。しかし裏庭即ち現在の食堂、図書館はテニスコートでした。又花壇もあり、四季の花で自然を楽しみました。旧講堂が出来たまで、現中一のC・D教室が講堂の役をし

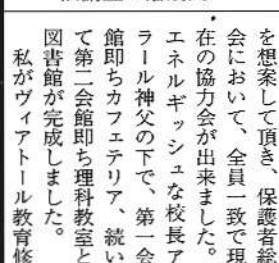
して文化祭、その他の行事が行われ、理科室は現生徒部と教務部、二階、三階の東二つの教室、図書館は現職員室、現会議室は職員室、校長室は現理事長室、小室はチャペル、保健室はよく変わりました。この様に年毎に変わったので教職員を含め、生徒諸君には迷惑だったと思いますが、学園作りには一生懸命で、むしろ生徒は自然に忍耐と我慢強さを培ったと思います。毎年入学する生徒には特別な能力の持ち主が多く、特に音楽に、スポーツに、演劇に恵まれていたので、文化祭、体育祭がユニークで良き伝統が出来ました。

学園は内部と共に新しい建築により充実してきました。生徒会が出来ると共に保護者会の必要を感じたのは私一人ではありません。幸い教育に関係されていた保護者に相談し、一般に言われているPTAと異なる洛星独自の保護者会の規則を提案して頂き、保護者総会において、全員一致で現在の協力会が出来ました。エネルギッシュな校長アラー神父の下で、第一会館即ちカフエテリア、続いて第二会館即ち理科教室と図書館が完成しました。私がヴィアトリール教育修

建設中の高校校舎



旧講堂の落成式



現テニスコートの前で



今年度の入試結果が確定した。現・浪共に健闘し、京大では2年連続トップの座を守りぬいた。しかし、「日没のように……」の噂もあり、来年度から某R高の中学進級組が参戦してくることもあり、前途に樂觀は許されない。

局長	職員	職員	職員	職員	職員	職員
HIIE	HIIE	HIIE	HIIE	HIIE	HIIE	HIIE
大森芳和	丹羽 明	高橋正樹	林 良範	笠井曉生	M2A	北川浩司